

第 18 回放送番組審議会

開催日時

2011 年 11 月 22 日(火)10:00~12:00

開催場所

株式会社シティテレビ中野 5 階会議室

出席者

委員 5 名 JCN 中野 6(5)名。 JCN1 名。 計 11 名

委員 川島 正英 八十島 信行 田辺 裕子 涌井 友子 折原 烈男

松原 弘宜 長谷部 智明

JCN 中野 西森英樹 林 英雄 佐藤 雅広 西井 俊介 村田 直哉 五ノ井英樹

JCN 清田 裕司

審議内容

□開催にあたり、株式会社シティテレビ中野(以下、JCN 中野という)西森英樹社長から以下の説明があった。

- ・番組審議会規定 ・東日本大震災の取り組み ・地上波デジタル放送移行への対応
- その後、議事説明および出席者の紹介、川島委員に司会を依頼した。

1. 会社概要について

□JCN 中野 西森社長から会社概要と会社の現状について説明があった。

- ・総視聴世帯数約 15 万(2011 年 3 月末)である。(区内の約 83%)
- ・CS 放送、インターネット、電話、3 つの有料サービスの加入者数は伸びている

2. CS デジタル放送について/新チャンネルの紹介

□JCN 中野 佐藤部長代理から CS デジタル放送新チャンネルの説明があった。

- ・2011 年 4 月に BS222 チャンネルが新しく追加(無料)、スポーツ、宝塚などを放送している
- ・ハイビジョン放送のチャンネルは合計 62、以降も増える予定。

【補足】(西森)FM ラジオ放送もケーブルテレビ(無料)で流している。

(長谷部委員)知らなかった、ラジオを愛好しているので早速利用したい

【質問】(八十島委員)BS のハイビジョン放送が増えているが、ハイビジョンになる前の同じ番組を放送しているのがあるのでは

【回答】(西森)4月段階の資料だから。10月からはサイマル放送をしているチャンネルもある。

3. コミュニティチャンネルについて

□JCN 中野 西井マネージャーからコミュニティチャンネルの制作体制、番組編成、番組内容について説明があった。

(1) 番組基本体制について

- ・今年度は昨年に引き続き本部、東京西エリア、中野局の3本体制をとった。
(本部、エリアは企画番組を中心とし、局は地域密着番組を中心)
- ・ターゲット層は女性、高齢者。
- ・朝7時～8時はライブカメラ映像(区役所屋上からの定点カメラ)を放映。
出勤前の人々をターゲット。データ放送の天気・交通機関運行情報も合わせて
- ・通販番組は午前10時から11時、午後1時から5時の放送。
- ・今年度から全国のケーブルテレビの番組を放送(午後3時から4時)
- ・午後6時からは自主制作番組を中心に放送。

(2) コミュニティチャンネルの番組紹介

- 情報を一方的に提供するだけでなく視聴者も参加してコミュニティチャンネルを作っていこうという趣旨
- ・特別番組「中野にぎわいフェスタ」生放送(10月)
中野サンプラザ前のメインステージを中心に放送
- ・特別番組「クイズ de ゲット JCN 中野大感謝祭」生放送(昨年12月)
視聴者参加型のクイズ番組
- ・合わせて東京西エリア枠の制作番組の説明

【質問】(長谷部委員)視聴総世帯数15万とサービス加入者数4万の差

【回答】(西森)接続世帯数として15万、アンテナを立てて視聴するとケーブル回線は絶たれてしまう。アンテナ経由との違いがまさにコミュニティチャンネル。

【意見】(長谷部委員)アンテナ経由、デジアナ変換、地上波デジタルなど視聴者は様々な選択肢があるので、テレビの電源を付けるとコミュニティチャンネルが自動的につくなど(インターネットのトップページのような)、誘導する手段が必要では。

【意見】(長谷部)昨年のクイズ de ゲットには参加した。

コミュニティチャンネルとしてはあってしかるべき番組。もっと周知した方がよい。震災以降、「横のつながり」「絆」が求められている。地域チャンネルもそうした部分

で特化していけるのでは。

通販番組も「地域限定の通販」にしてみても。

【意見】(長谷部委員)デイリー中野のスタジオ出演について、出させていただいたこともあるが、台本をもらってやり取りをするだけになっている。

もう少し、演出をして盛り上げて欲しい。

【意見】(八十島委員)コミュニティチャンネルを地域で暮らす接着剂的な役割を持って欲しい。ズームアップ中野…作られすぎている(固すぎる)

【意見】(田辺委員)番組の女性と高齢者がターゲットとするならば、地域で行動するのも女性と高齢者。そうした方たちから情報を得るのもひとつの方法。

【意見】(折原委員)以前も商店街を回っていた番組もあったが、現在が商店街ではなく個々のお店紹介になっている。商店街をお店の関連性が見られない。地域が見えない。

【意見】(八十島委員)商店のキャンペーンとコミュニティチャンネルがタイアップしていければ。

【意見】(長谷部委員)地域限定の番組づくりがコミュニティチャンネルには必要。

【意見】(松原委員)JCN 中野と定期協議をしているが、区の広報とコミュニティチャンネルとで区民が「知りたいことは何か」「知ってもらべきモノは何か」を中心に協議している。地震災害の情報交換などは、今後とも協力関係を続けていきたい。

若い世代はソーシャルメディアに関心が深いので、そうした世代にも伝える番組を作りも必要では。単純にコミュニティーチャンネルの番組表が分からない。

【意見】(涌井委員)外で活躍している婦人は時間がない。デイリーで少しでも映っているだけで嬉しいもの。しかし、催しに来た人は放送日が分かるが、それを他の人々に伝える資料がない。もう少しPR の手段を考えて欲しい。

【質問】(涌井委員)ネットも電話も契約しているが、停電になった時は使えるのか。

【意見】(八十島委員)鉄道の運行状況は良い。

閉会にあたり、JCN 中野 西森社長から

- ・「放送時間の告知方法」「取材方法」の見直し
 - ・出来事を紹介するだけでなく、商店街や町の活性化につながる番組づくり
 - ・若い世代に向けた番組の必要性
 - ・「視聴者参加型の番組」「地域や周りと連携していく番組」の重要性
- などの視聴してもらうための努力をすべき点を総括

またチャンネル(地デジ 10 チャンネル)が一つ増えることを報告がありました。